



# (広島県) 福山市立福山中・高等学校

発表者

上山 晋平 (研究企画主任)



# 学校紹介① (沿革)



① **高校創立120周年** (1899～)

② **公立中高一貫校15周年** (2004～)

広島県の公立**中高一貫校** : 5校

公立中／高 : **327校** (中学: 235校, 高校 : 92校)

③ **生徒数1000名** (教員**90名**・**27学級**)

④ **学校の特色:**

◆ **国際交流 (姉妹校と)**

( オーストラリア, 韓国, マレーシア, マウイ・・・ )

◆ **ESD** (地域課題・国際課題解決Project等)

# 学校紹介② (ESDを軸にした学校づくり)

## ① ユネスコスクール

by UNESCO

約 1100 校 (日本) 世界11000校 [2018~](#)



## ② サステイナブルスクール

by ACCU (Asia-Pacific Cultural Center for UNESCO)

24 校 (日本) [2016~](#)



## ③ ハッピースクール

by UNESCO ( Bangkok )

パイロット3 力国 (世界, 日本・タイ・ラオス)

日本国内5校 [2019~](#)



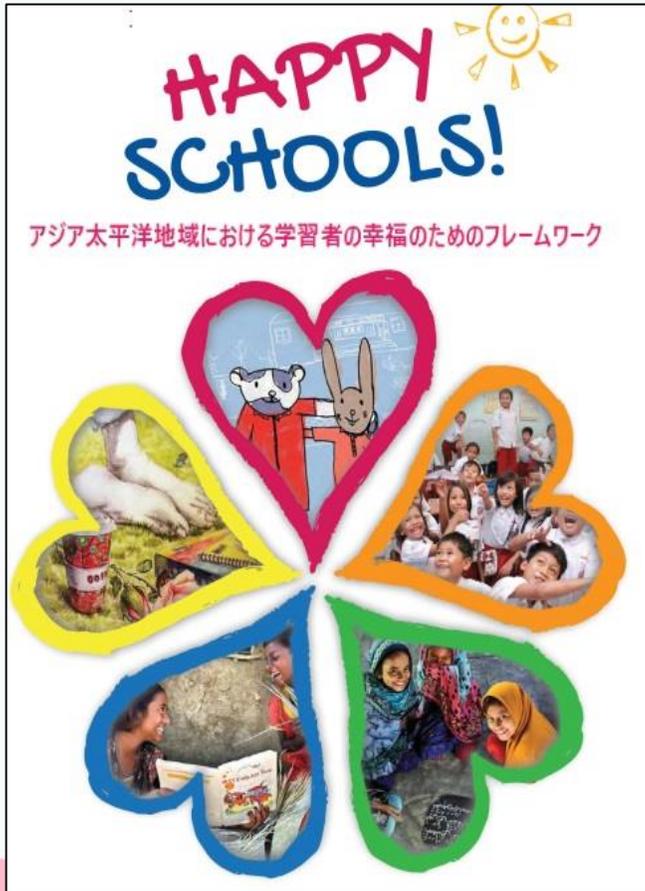
# 学校紹介③ (ESD大賞・受賞理由等)

- ① ESD推進は「**持続可能性**」に加え、生徒の「**資質・能力**」の向上, 学校の「**教育改革**」推進につながる
- ② 目的, 活動, 評価の一体化, **SDGs**等の取組
- ③ 総合, 探究, 特活, 各授業が**密接に連携**
- ④ **資質・能力** (情報整理力, 表現力, 課題発見力, 協働, 尊重, チャレンジ精神) を定めて**ルーブリック評価**  
→生徒、保護者、教員が**成長の見える可**
- ⑤ **行動変容** (ペットボトルを避ける教員等)
- ⑥ **市や企業と連携**



# ガイドについて①

## 日本語版要旨



### (1) ガイド2種類

- ①日本語版資料（厚い、全81p） ←印刷したが不使用
- ②日本語版要旨（薄い、全13p） ←こちらを使用

### (2) ガイド活用例

【名称】「ESD校内研修会」（全教職員対象）

【内容】「ESDとは」「Happy Schools Projectとは」

【目標】①両者を説明できる ②実践例・改善案を思いつく

【流れ】（Happy Schools Projectについて）

- ①Happy Schools Projectとは
- ②Unhappy Schoolsとは
- ③Happy Schoolsとは
- ④「本校の改善点は？」

# ガイドについて②（続き）

People 人	Process 過程	Place 場所
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校コミュニティにおける友情と繋がり</li> <li>教師のポジティブな態度</li> <li>多様性と相違性の尊重</li> <li>ポジティブで協動的な価値観と実践</li> <li>教師の労働条件と健やかさ</li> <li>教師のスキルと能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習量の適正化</li> <li>チームワークと協調精神</li> <li>楽しく魅力ある教え方と学び方</li> <li>学習者の自由、創造性と参加</li> <li>達成感</li> <li>課外活動と学校行事</li> <li>生徒と教師がチームとなって学ぶ</li> <li>学習内容の実用性と妥当性</li> <li>精神の健全性とストレス管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>温かく友好的な学習環境</li> <li>いじめのない安全な環境</li> <li>開放的で自然のある学習および遊び空間</li> <li>学校のビジョンとリーダーシップ</li> <li>ポジティブな規律</li> <li>良い健康、衛生、栄養状況</li> <li>民主的な学校運営</li> </ul>

## (2) ガイド活用例

### ④ 「本校の改善点は？」（改善点を見つけるヒント）

例①) フレームワーク（3 カテゴリー、22の基準）を見て  
本校でできているものに○（惜しいもの△、まだ×）

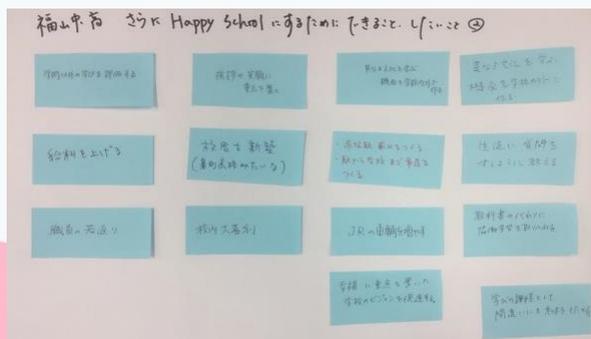
例②) これらを参考に本校で取り組みたいものは？

## (3) コメント・意見例

- 学校ビジョンに「幸福」を取り入れる（幸福）
- 皆が集える食堂を設置する（交流・協働）
- 質問の意義を生徒に教える（主体性）
- 補習を選択式にする（主体性）etc

## (4) ガイドの改善点（忙しい現場で読まれる資料の特徴）

- ① 簡潔（分割、箇条書き、薄く）
- ② 具体的（×抽象的）
- ③ 意義とやり方、時間が明記 ← 体験型研修会の重要性



# 本校の課題（4月）



4月のワークショップin福山でプロブレムツリーを作成した際に出てきた課題

## 【人 (People)】

- 6月に120周年記念式典がある。そこで歴代校歌3曲を感動的に歌いたい。しかし、卒業式など校歌斉唱は声が小さくなりがち。何とかならないか・・・。

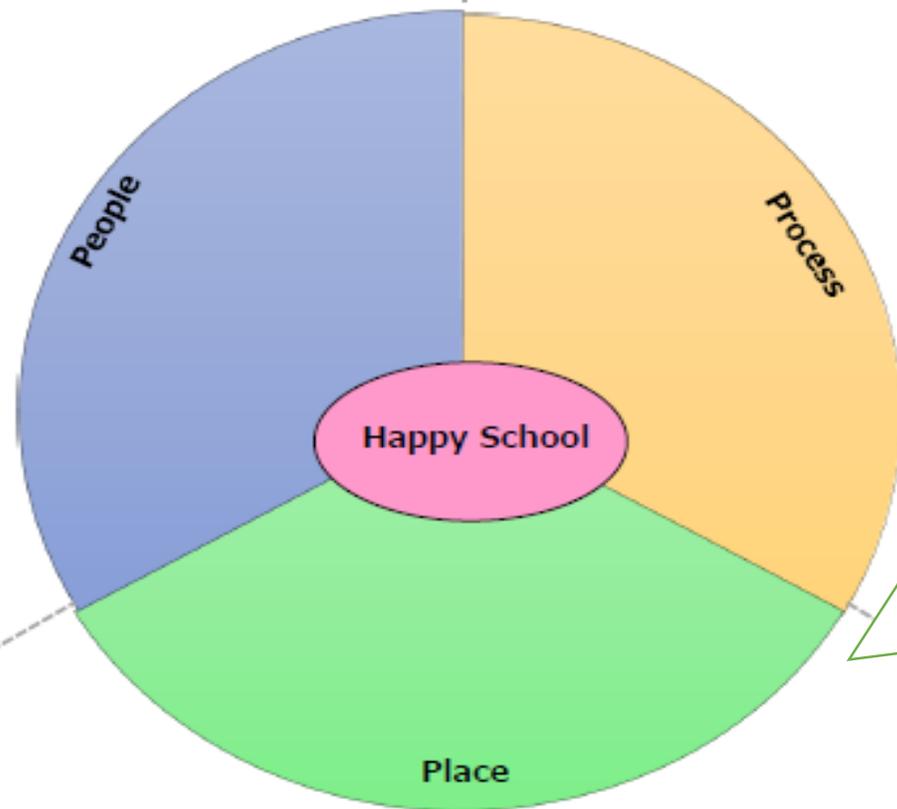
## 【過程(Process)】

- 地域の進学校として受験指導に力を入れ、開校時の数値目標はほぼ達成できた。が、時代は変わる。生徒と教師がチームで探究する形も取り入れたい。

## 【場所(Place)】

- 決められたルールは守れるようになってきた。が、「スマホ持ち込み可」など県の動きも加速。生徒や保護者も主体的に関わるルールづくりをしたい。

# Happy Schools デザインシート



1つ前のスライドに出てきた課題を克服するために、

- ・どのような目的で
- ・どのような活動をするにしましたかを簡単にご説明していただきます。

4月に作成したデザインシートをACCUで挿入させていただきます。もし変更がある場合は、更新版をACCUまでお送りください。最新版を挿入いたします。

# 活動（人：People）

HAPPY  
SCHOOLS!

「人」  においてウェルビーイングを高めるカギ 

- **他者とのポジティブな関係**  
（生徒同士、教員、保護者、地域の方を含む）
- **ポジティブな価値観**を持つ教員・生徒
- **協働的な価値観**・実践

\*ガイドより

# 活動（人：People）①



**活動名**：120周年記念式典 歴代校歌（3曲）斉唱Project

\*この1年間で最大の行事

参加者 1600人（市長を含む）

**期 間**：5月～6月（2ヶ月間）

**内 容**：歴代校歌3曲を歌って  
聴衆に感動してほしい  
→一体感につなげたい

**課 題**：大きな声での校歌斉唱は容易でない  
：時間の捻出（毎日練習？）

**変 容**：次のスライド参照





- ・ 聴衆：「感動した!」「生徒の可能性を感じた!」
- ・ 生徒：やり切った感、満足そう

# 活動 (人: People)②

活動名 : 地域の方を学校に

期 間 : 通年

内 容 : 行事 (文化祭、体育祭等)  
地域課題解決学習  
進路講演会  
(卒業生の講演)

課 題 : 保護者の理解  
: 必要経費確保 (講演等)

変 容 : 学校の状況を知って応援団になってくださる



# 活動（人：People）③

活動名：異年齢部活動（中高合同）

期間：通年

内容：部活動（中高合同）

課題：場所・時間の確保  
：部活動指導者の確保

変容：先輩から技の伝承

（演劇、吹奏楽、少林寺等の強豪に）

社会性向上（人間関係、友情、言葉づかい等）

反抗期が短い？



# 活動（人：People）④

**活動名：**他校との活動（名古屋国際中・高）  
\*サステイナブルスクール同士で交流あり

**期間：**8月1日（10:00～12:00）

**内容：**学校紹介・自己紹介  
校内見学

実践発表（観光甲子園での地酒の企画）  
SDGsをテーマとしたディスカッション

**課題：**担当者（中・高校）  
：交流が一部の生徒（中学は生徒会、高校は有志）

**変容：**（生徒）お互いの活動から刺激（教員）刺激と「仲間感」



# 活動（人：People）⑤

活動名：校内研修

期間：通年（授業研究会は年4回）

内容：毎年1テーマで実践集作成

全員参加、記名式（1人2p）

2019 課題発見・解決学習

2018 SDGsを取り入れた授業

2017 3つの学び

2016 活用型授業

課題：実践の基となる理論編の作成（4月）

：全教職員への提出呼びかけ

変容：毎年1冊実践集（知恵）蓄積・県外研修で「うち、けっこう進んでいるな」（教職員）



# 活動（過程：Process）

HAPPY  
SCHOOLS!

「過程」においてウェルビーイングを高めるカギ🔑

- 学習者の**幸福感**を高める教え方・学び方
- **適度な学習量**
- **自由に意見**を言える環境
- 学習内容が**実用的**

\*ガイドより

# 活動（過程：Process）①



活動名：「生徒と教師がチームで学ぶ！探究学習Project」

- ① 生徒と教師でチームになって学ぶ
- ② 課題発見・解決型の探究的な学習

期間：4月～12月（8ヶ月間）

内容：① 高校1年探究授業（グローバル人材育成事業）  
② 全教職員で課題発見・解決学習推進（冊子化）

課題：探究（課題発見・解決）とは何？（生徒・教員も）  
：探究する時間は？（授業外？）

変容：生徒も教員も探究（授業実践集が年度末に完成）  
課題発見・解決学習（実践集が年度末に完成）



# 活動（過程：Process）②

活動名：「学習量軽減」「Less Tests, More Contests!」

- ①中期休暇の全員補習・学習合宿廃止（高3も希望制拡大）
- ②テストの代わりにコンテストを積極的に実施

期間：通年

内容：①高1、2夏休み補習前期は廃止、後期は実施

②コンテストの例（英語科）

- ・単語（英作文）コンテスト
- ・プレゼンコンテスト

③本校キャラクター「市花ちゃん」

課題：勇気、分掌会、教科会での議論

変容：生徒も教員にも余裕が生まれる  
やらされ感が減り、主体性が増す



# 活動（過程：Process）③

**活動名：**「夢チャレ！総合・特活・部活・課程外でも」  
教科外の学びに積極的にチャレンジ  
（「社会情動的な学習」→非認知スキル）

**期 間：**通年

**内 容：**（例）保育所訪問、フラワーアレンジメント  
コンテスト、地域の方のための演劇会、  
高校生による小学生科学教室→レポート・発表

**課 題：**活動に時間がかかる（働き方改革との関連は？）

**変 容：**校外の活動に主体的に参加し全国規模でも活躍  
（観光甲子園グランプリ、全日本高校模擬国連4年  
連続5度出場、フィリピン現地ボランティア等）



# 活動（過程：Process）④

活動名：「国際交流！」

- ① 姉妹校を訪問・交流・協議する
- ② 姉妹校から生徒を迎える・バディ

期間：通年

内容：（写真）オーストラリア、  
韓国、マウイ、マレーシアでは  
高2 修学旅行でSDGs協議  
（煙害、エビの養殖の影響等）

課題：交流に主体的な担当者が必要  
：時間がかかる（事前準備も含めて）

変容：国際的なプログラムに参加者数が増加中  
（2017 40人→2018 48人→2019 65人）

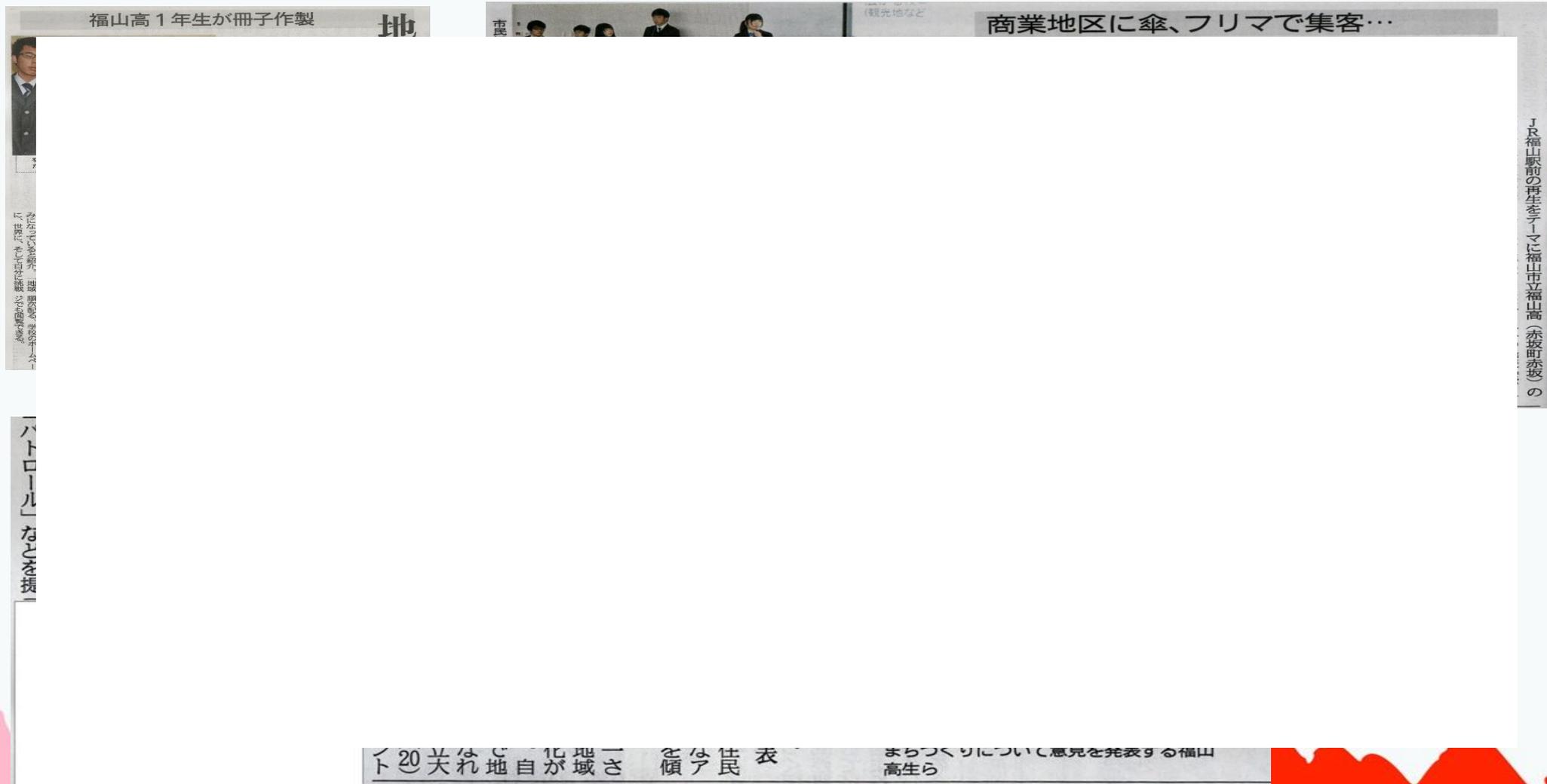


# 活動（過程：Process）④

## オーストラリアの生徒とのSDGs合同授業（地理）



# 活動（過程：Process）



# 活動（場所: Place）

HAPPY  
SCHOOLS!

「場所」においてウェルビーイングを高めるカギ🔑

- ポジティブでハッピーな環境 / 校風
- 笑顔や挨拶
- いじめ問題の予防
- 学校運営・リーダーシップ・学校ビジョン

\*ガイドより

# 活動（場所：Place）①



活動名：「ハッピー校則Project」（生徒・保護者・学校で）ルール作り

期間：4月～7月（3ヶ月間）

内容：①生徒会がアンケート（実態把握）

（中高）スマホ所有85%、1日2h以上25%、就寝直前まで使用50%

②保護者・教員協議

③生徒会・風紀委員会作成「スマホマナー」

変容：学校「スマホ持ち込み化」へ（許可制）

＊校内では使用しない（電源off、各自保管）

生徒側に立ったルール増加の兆し（カバンも検討中）

課題：協議に時間がかかる

：生徒が関するルール作り≠全員がルール遵守



*Ichiritsu* スマホマナー

福山高校風紀委員会

1. ながらスマホは、禁止。
2. 公共の場では、その場所のルールを守ろう。
3. 家族や友達といるときは、使わずに会話をしよう。
4. 許可なく写真を撮らない！
5. 個人情報をさらさない！
6. 他人の画面を見ない！

# 活動（場所：Place）②

活動名：学校ビジョンに「ESD」（地球全体の幸福状態の追究）

期間：通年

内容：①ビジョン検討委員会で学校ビジョンにESDを決定  
②PTA総会で学校長から保護者にESDの説明（保護者の理解・協力）



## ③持続可能な社会の担い手

国際理解・地域課題について探究し、**持続可能な社会の担い手となる生徒**を育てる。

変容：ビジョンに入れることでESDの取組が持続的に（複数年継続）  
新任教員に説明する際にもESDの重要性を伝えやすい（会議室掲示）

課題：管理職との協力が不可欠

# 活動名：学校ビジョンに「ESD」（地球全体の幸福状態の追究）



## 福山中・高等学校 第Ⅳ期ビジョン

2018年度（平成30年度）～2020年度

学校教育目標 創造的な知性と豊かな心の調和的な発達を図り、国際社会に貢献できる人間を育成する

校訓  
interaction 共感  
intelligence 知性  
intention 意志  
キャッチフレーズ  
i.dream  
一人一人の夢の実現

ミッション(使命)

生徒一人一人の夢を実現する公立中高一貫教育を推進する。  
グローバルな社会で活躍する人材、地域社会をリードする人材を育てる。  
福山市公立学校全体の発展のため、すぐれた教育実践を創造・発信する。

ビジョン(将来像)

- 1 中高の系統的な学習活動を通して、キャリア形成に向け、主体的に歩む生徒を育てる。
- 2 中高の学校生活の中で共に成長する経験を通して、自他を尊重し、他者と協働できる生徒を育てる。
- 3 国際課題・地域課題について探究し、持続可能な社会の担い手となる生徒を育てる。



### 育みたい資質・能力

### めざす生徒像

#### 情報整理力

課題解決や新しい価値を創造するための知識や情報を獲得し、整理・分析することができる生徒

#### 表現力

課題解決のために必要な知識・技能を創造的・探究的に活用・表現することができる生徒

#### 課題解決力

生活や社会(地域や国際社会)における課題を発見し、解決することができる生徒

#### 協働

価値観の多様な他者と協働して、集団や社会に貢献する態度を持つ生徒

#### 自他の尊重

個人的・社会的責任を重んじ、他者を尊重するとともに、自己肯定感を高めようとする態度を持つ生徒

#### チャレンジ精神

高い志を持ち、新しいことや困難なことに対するチャレンジ精神をもつ生徒

1 2 3 4 5 6

確かな学力	基礎基本 思考表現 学びの姿	系統的な教科指導計画による学習	発達段階に応じた知識・技能の習得	各種補習・学習合宿
	コミュニケーション科	各教科におけるペア学習・グループ学習	探究型学習	大学合格支援プログラム
豊かな心	社会人 倫理観 共伸	「課題＋自主学习」	異学年交流	5学年「夢チャレ」 6学年「課題研究」
		基本的生活習慣の確立	自己指導能力の育成	望ましい生き方・在り方
		時間を守る	自ら挨拶をする生徒	服装 電車マナー・交通マナーを守る生徒 三点固定
持続可能な社会の担い手	地域課題 国際課題 生き方	教科「道徳」	リーダー育成	生徒会活動 委員会活動 地域ボランティア活動
		帰属意識 新入生合宿	望ましい学級・学年・学校集団づくり	部活動 体育祭
		ふるさと学習「誰もが暮らしやすい福山の街づくり」	地元の企業研究「高校生のための企業ガイドブック作成」	各教科におけるSDGs
		ALTによる授業	海外提携校との交流(豪州・韓国) 海外語学研修・海外ボランティア	留学生の受入 海外修学旅行 模擬国連 各教科におけるSDGs
		自己理解 自分発見学習	職業観育成 3学年大学・企業訪問	将来設計 進路研究「ライフプラン」 職業講演会・学問探究講座

夢を見つける

夢をはぐくむ

夢をかなえる

高：国公立大学合格者50%以上・難関大学合格者15名以上

# 活動（場所：Place）③

活動名：学校庭園（生徒が管理）

期間：通年

内容：①FWC(ボランティア部)が学校庭園を担当  
②福山市の市花（バラ）の選定講習など希望者に実施  
（講師は地域の方）

変容：希望者が学校の美化に主体的に関わる  
市の花文化の継承につながる（市唯一の市立校）

課題：長期休暇中のボランティア部内の調整（担当など）



# 活動（場所：Place）④

活動名：地域の方と地域清掃（地域をより良い状態に）

期間：毎年10月

内容：地域の方と地域清掃（部活単位の申し出も）

変容：地域の方と協働して地域や地域への愛着up

課題：保険などの事務作業担当者

